

組合員皆様の保養所 *Sakura Resort Hotel Ishigaki*
 さくらリゾートホテル石垣



社内研修や記念旅行、
 永年勤続・優績者への表彰制度に……
 日本最南端の楽園「石垣島」で
 くつろぎの時間をお過ごしください。

＼ご好評につきキャンペーン継続！／

1～6月限定キャンペーン 宿泊料金半額 & 夕食をご注文のお客様に限りドリンク全品(アルコール含む)無料

区分	通常料金(税込)	キャンペーン価格(税込)
Aタイプ(2人)	9,600円	4,800円
Bタイプ(2人)	14,400円	7,200円
ロフトなど(1人)	2,500円	1,250円
Aタイプ(1人)	7,800円	3,900円
Bタイプ(1人)	12,600円	6,300円

夕食料金 (税込)	Aセット/2,200円 Bセット/3,850円	ドリンク/550円～ ➡ キャンペーン期間中全て無料	土曜・日曜・祝日の前日の割増料金は1,000円となっております。 ※キャンペーン期間中は割増料金はかかりません。
---------------------	----------------------------	--------------------------------------	---

申込受付は、利用希望日の3ヶ月前からとなっております。宿泊の取消は、その連絡日より以下のキャンセル料を申し受けます。
 宿泊当日及び宿泊前日 100%/宿泊2日～4日前 60%/宿泊5日～7日前 30%/宿泊8日～21日前 10%



アソシエーションニュース
Association
NEWS

道央情報サービス協同組合

組合だより

2024
1月号
 季刊



CONTENTS

- 新年のご挨拶
- 組合員ペンリレー【オヘソファクトリー株式会社】
- ETC車載器の再セットアップ、行なっていますか？
- 「2024年問題」・人手不足という経営課題について
- 組合員の皆様へ 耳寄り情報
- 名車ファイル vol.27

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては健やかに
新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの5類移行後のインバウンドの急速な回復など、わが国経済にとってプラス要因もあり、景気は改善方向にあります。しかしながら一方で、ウクライナ情勢に加え中東情勢の不安定化が顕在化、円安の進行と相まって、資源価格の高騰が私たち中小企業経営に重くのしかかってきていると感じています。

厳しい経営環境にはありますが、会社・お取引先・従業員などのステークホルダーを守り抜くことも経営者に課せられた重大な責務でもあります。物価高・人手不足など難問が山積する中、当組合も組合員の皆様の経営課題に向き合い、組合員の皆様の地位向上を図るべく誠心誠意努力する一存でおります。

辰年は時代を動かす「変革・転機」の年とも言われております。昨年、台湾の半導体TSMCが九州熊本に進出、日本政府も多額の補助金を投入しました。また、一方で北海道の千歳には純国産投資としてラピダスが進出を表明しました。半導体を制するものが世界を制すると言われており、地盤沈下が進んでしまった日本のものづくりが復権なるかの岐路に立っているのかもしれない。熊本県の10年間の経済波及効果は6.9兆円、道内では14年間で18.8兆円と試算されています。

組合員の皆様におかれましても、常識にとらわれない発想力でいろいろなことにトライし、この1年が皆様にとって素晴らしい1年となりますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



道央情報サービス協同組合
理事長 鶴嶋 浩二



OHESO GARAGE オヘソファクトリー株式会社

OHESO GARAGEは、住宅(新築・リノベーション)、店舗のデザインから設計施工までを一貫して行うデザイン型工務店です。店舗、住宅両方のデザイン経験から得た柔軟な発想とお客様のイメージをじっくりと伺い形にするスタイルを得意とし、お客様の理想の住まい、店舗運営をデザインします。



Mission

デザインで世の中の暮らしを豊かにする

「空間+個性=大好きな場所」の創造を通してお客様の人生をより豊かにする。



Vision

期待に応え、実現できる企業になる

お客様の理想の住まい、店舗運営をデザインし「お客様らしい空間」を創り出すため、従業員や関わるすべての人達との良い関係を築き、全員が幸福感を味わえるような企業になる。



Message

頼りになる存在であり続けたい

お客様の希望を叶えるために、日ごろから幅広い知見に触れ、遊びも日々の生活も仕事の糧とし、次の仕事に生かせるような環境づくりを心がけています。そして、柔軟な発想とお客様のイメージをじっくりと伺い、トレンドを意識しつつも施主様の思い描くイメージを盛り込みながら形にしていくことを第一に考えています。



ILLGATE FURNITURE & LIFESTYLE STORE 家具・雑貨販売

インテリアからライフスタイルをより豊かに。

これをコンセプトに格好いい家具や照明、雑貨を取り揃えております。私達が提案するライフスタイルをお店に来て体験してみてください。



オヘソファクトリー株式会社/OHESO GARAGE

〒243-0813 神奈川県厚木市妻田東2-11-6 TEL: 046-297-7741 / FAX: 046-297-7742 URL: <https://oheso-garage.com>

第32期通常総代会が開催されました

当組合の第32期通常総代会が開催され、すべての議案が満場一致で可決承認されました。

- 開催日時 | 令和5年11月28日(火) 午後5時
- 開催場所 | 京王プラザホテル札幌 2階 クローバルーム (札幌市中央区北5条西7丁目2番地1)
- 第1号議案 | 第32期事業年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案について 監事の監査報告
- 第2号議案 | 第33期事業年度事業計画案、収支予算案について
- 第3号議案 | 任期満了に伴う理事8人、監事2人の改選について

- 代表 理事会長 | 木戸 善幸
- 代表 理事 理事長 | 鶴嶋 浩二
- 理事 | 吉田 栄治
- 理事 | 庵原 史章
- 理事 | 深貝 亨
- 理事 | 松浦 良一
- 理事 | 原 昌利
- 監事 | 浅野 剛
- 監事 | 清平 秀幸

ETC車載器の再セットアップ、 行なっていますか？

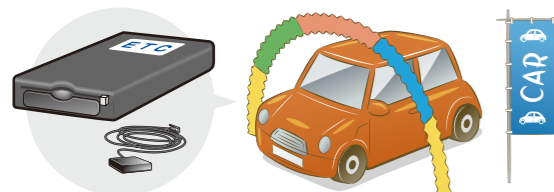


再セットアップとは？

ETC車載器には車検証に記載された車両情報が登録されていますが、ナンバー変更等で登録情報と車両の情報が一致しなくなった場合は、正しい情報に登録し直す必要があります。これを再セットアップといいます。

下のようなケースは再セットアップが必要です

ETC車載器付きの 中古車を購入した場合



※ナンバーが変更にならず、所有者・使用者情報のみの変更だった場合は、再セットアップ不要

ナンバープレートを変更した場合

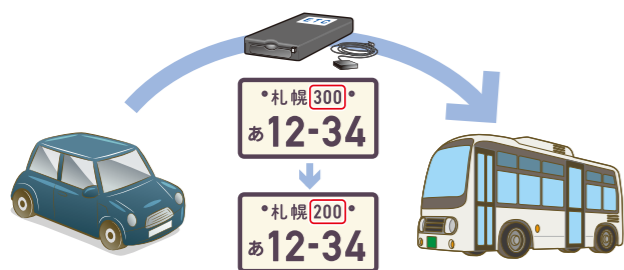
例1 引っ越し等により車両のナンバーが変更になったとき



例2 用途変更したとき(乗用⇒貨物)



ETC車載器を 他の車両へ載せ替えた場合



けん引装置を付けた場合



もし再セットアップをしていなかったら…

- 料金所のバーが開かない場合があります事故の危険があります！
- ETC利用照会サービスの登録ができない、組合ETCカードの申込みができないなどETCのサービスが利用できない場合があります！
- 正しい通行料金が請求されない場合があります！

※悪質な利用と判断された場合は、不正通行車両と見なされることがありますのでご注意ください！



再セットアップは、組合北海道・東京両本部他、カー用品店、カーディーラー等セットアップ登録店で行なうことができます(3,000円/台前後)。この機会に、再セットアップしていない車両がないか、自社の車両を見直してみましょう！

(エス・バイ・エス事業協同組合 高橋 尚志)

「2024年問題」・人手不足という 経営課題について

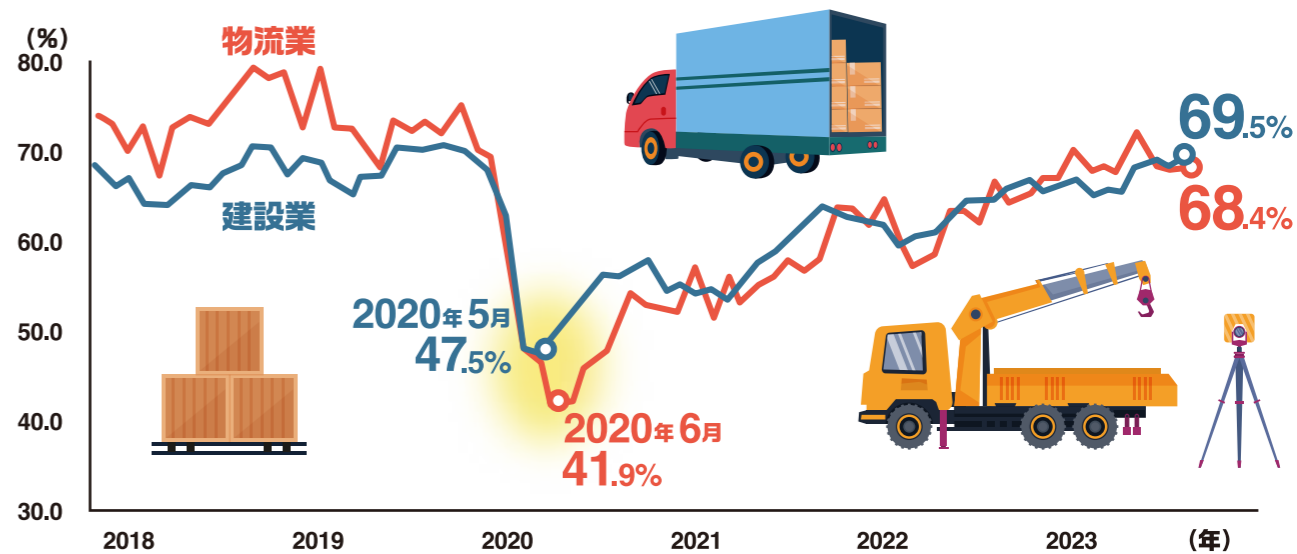
出典：帝国データバンク「特別企画：人手不足に対する企業の動向調査(2023年10月)」

建設業・物流業では約7割が人手不足

新型コロナウイルスが5類へ移行され、2023年は各種イベントの再開やインバウンド需要の回復もあり国内景気は上向いてきました。その一方で人手が不足する課題に直面している事業者の方も増加しています。

2023年10月の統計では「人手不足に起因した倒産は206件(過去最多であった2022年の年間ベースを更新)」となっており、人手不足が経営のリスク課題として顕在化してきています。全産業では正社員の人手不足を感じている企業は、52.1%、インバウンドが好調な旅館・ホテル業界が75.6%のトップ、エンジニア人材の不足が目立つ情報サービス業が72.9%。また、「2024年問題」という課題に直面している建設・流通業界が約70%となっています。

建設業／物流業の人手不足割合 正社員 帝国データバンクの調査



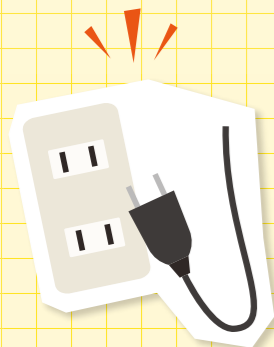
働き方改革関連法案によって、建設業と物流業にも時間外労働の上限規制が適用されることで労働力不足の深刻化が懸念されています。建設業界では69.5%、流通業界では68.4%の企業が人手不足を感じ、さらに、建設業界では資材価格、物流業界ではエネルギー価格の上昇などによって収益が圧迫されているなかで、人件費に充てられる分を捻出できないという切実な声があがっており、人手不足の加速に拍車をかけているといえます。働き手が限られるなかで今後も従業員を増加させることは容易ではなく、人手不足の長期化が予想されています。

帝国データバンクのアンケート調査では、従業員数が「変わらない」「減少した」を足した比率が建設業界で79.1%、物流業界で79.0%に達し人員確保の困難さが伺えます。

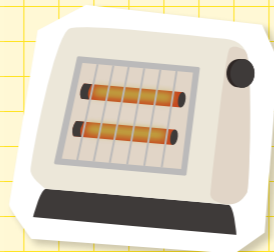
人手不足の解消には①マンパワー増加②生産性の向上が求められますが、労働人口の減少、時間外労働の上限規制から人員の増加が見込みにくい中、生産性の向上へ向けた業務フローの見直し・デジタル化・リスクリングを活用した労働生産性の向上が課題と言えます。

(高橋 正幸)

組合員の皆様へ 耳より情報



昨年は食料品からエネルギーまで価格の値上げラッシュが相次ぎました。エネルギー資源を海外からの輸出に依存する私たちにとって、ガソリン・石油・天然ガス・電気の価格上昇は収益にはマイナス要因、「政府の補助金等」もあり一部緩和はされているものの、コスト増への影響を受けています。中東情勢も混沌としてきており、今年もエネルギー価格の高止まりが…



そこで今回は

社内で節電に取り組む

というテーマをお送りします。

一部の大手企業では、自社店舗や工場に太陽光発電設備を設置するなど対応している先もありますが…
私たち中小企業ではそれも叶わぬ夢

コストをかけずに行う省エネ方法として、地味ですが「人の手による省エネ」をご紹介します

施策	省エネ効果の目安
フィルター清掃	冷房時 約4% 暖房時 約6% の省エネ 2週間に1度が目安
室外機の温度環境や障害物の見直し	室外機の風通しが悪いと 電気代は1.5倍に
熱交換器(フィン)の清掃	長期間行わなかった場合に比べて 27%の節電 <small>頻度 ・工場/店舗…約3年・事務所…約5年 ・福祉医療施設…約5年</small>
部屋に応じた適正温度の設定	室温の目安は「夏期28℃、冬期20℃」 1℃最適化するだけで約10%削減可能
冷水出口温度設定値の変更	冷水温度を7℃から9℃へ上げると使用電力は 8%削減
外気導入量の削減	節電効果 オフィスビル… 5% 卸・小売店… 8% 食品スーパー… 4% 福祉医療施設… 2% 製造業… 8%
残熱量利用による運転時間の短縮	約6%の省エネ 8時間勤務のオフィスで30分間空調停止した場合
分散起動	冬の商業施設で 約9%の削減効果
ナイトパージ	約5%の省エネ <small>ナイトパージシステム利用 (注)ナイトパージ…夜間に外気を取り込んで室内を冷やしておき翌日の空調起動時の負担を軽減する手法です。ナイトパージ機能の付いた空調機器が用いられるケースが一般的</small>
ブラインド等で遮光する	ブラインド無しの場合と比較して 10.6%の省エネ効果

具体的な効果を数字で示してみましたが、積み重ねることで、省エネ効果を享受することが可能、ちょっとした手間やルール付で実現できるかもしれません。

よろしければ参考に
してみてください。

(高橋 正幸)

たま電気自動車「たま号」

【1947年～1951年】

世界最初の量産EV車

世界で最初の量産電気自動車は日本で作られたことをご存じでしょうか。

写真は「たま電気自動車」(旧東京電気自動車)によって開発された量産電気自動車です。

第二次大戦時、戦闘機の製造を担っていた立川飛行機が解体するのをきっかけに、同社の技術者を中心に民生自動車を製造する目的で誕生しました。

当時の日本は終戦から間もなく、食料・物資だけでなく深刻な燃料(ガソリン)不足の状態でした。戦争により、大規模工場が壊滅的な打撃を受け電力の大口需要が無くなったため、電力供給には余裕がある状態であったことから、政府は電気自動車を推奨し多くのメーカーが電気自動車を開発しました。その中で抜きん出た存在は、航空機技術を持つ東京電気自動車でした。

フレームは「高速機関工業」の「オオタ」(後のオオタ自動車)ブランド車のものを改造し、モーターは日立製、バッテリーは湯浅電池(現GSユアサ)と共同開発したものでした。動力は直流直巻モーターで最高出力定格3.3kW(4.5PS)で最高速度35km/h、航続距離は96kmを誇りました。(モデル末期には航続距離は200kmとしています)

しかし朝鮮戦争が勃発したことからバッテリー価格が高騰し価格競争力を失って行きます。「たま電気自動車」はガソリンエンジン車を製造する「プリンス自動車工業」として再開発します。航空機技術をベースとした技術力で「スカイライン」をはじめとする名車を世に出します。「プリンス」の名前は皇室と縁が深かったからといわれており、その後皇室の御用車「プリンスロイヤル」を開発します。

納車時点では、日産自動車と合併していたことから御用車は「日産 プリンスロイヤル」のエンブレムがつけられました。

1970年代の石油ショックと排ガス規制強化の中、本田技研工業を除く各社が電気自動車の開発をおこないますが、中東情勢の改善、排ガス対策技術の向上、コスト及び利便性においてガソリン車に見劣りする電気自動車は実験の域を出ることなく姿を消すこととなります。

「プリンス」の伝統を受け継ぐ日産は近年「リーフ」、「さくら」を発売し電気自動車でリードしていますが、日本のEVは米国「テスラ」、中国「BYD」に比較し大きく後れを取っています。電気自動車の歴史は失敗の歴史でもありましたが、今後量産EVを初めて世に出した日産・プリンスの伝統と技術、ホンダ・ソニーの斬新さ、トヨタの複眼の思想による水素燃料・全固体電池技術で日本車が再び世界を席巻することを願いたいものです。

開発します。納車時点では、日産自動車と合併していたことから御用車は「日産 プリンスロイヤル」のエンブレムがつけられました。

1970年代の石油ショックと排ガス規制強化の中、本田技研工業を除く各社が電気自動車の開発をおこないますが、中東情勢の改善、排ガス対策技術の向上、コスト及び利便性においてガソリン車に見劣りする電気自動車は実験の域を出ることなく姿を消すこととなります。

「プリンス」の伝統を受け継ぐ日産は近年「リーフ」、「さくら」を発売し電気自動車でリードしていますが、日本のEVは米国「テスラ」、中国「BYD」に比較し大きく後れを取っています。電気自動車の歴史は失敗の歴史でもありましたが、今後量産EVを初めて世に出した日産・プリンスの伝統と技術、ホンダ・ソニーの斬新さ、トヨタの複眼の思想による水素燃料・全固体電池技術で日本車が再び世界を席巻することを願いたいものです。

開発します。納車時点では、日産自動車と合併していたことから御用車は「日産 プリンスロイヤル」のエンブレムがつけられました。

1970年代の石油ショックと排ガス規制強化の中、本田技研工業を除く各社が電気自動車の開発をおこないますが、中東情勢の改善、排ガス対策技術の向上、コスト及び利便性においてガソリン車に見劣りする電気自動車は実験の域を出ることなく姿を消すこととなります。



航空技術で作られた流面形が特徴

開発します。納車時点では、日産自動車と合併していたことから御用車は「日産 プリンスロイヤル」のエンブレムがつけられました。

1970年代の石油ショックと排ガス規制強化の中、本田技研工業を除く各社が電気自動車の開発をおこないますが、中東情勢の改善、排ガス対策技術の向上、コスト及び利便性においてガソリン車に見劣りする電気自動車は実験の域を出ることなく姿を消すこととなります。

「プリンス」の伝統を受け継ぐ日産は近年「リーフ」、「さくら」を発売し電気自動車でリードしていますが、日本のEVは米国「テスラ」、中国「BYD」に比較し大きく後れを取っています。電気自動車の歴史は失敗の歴史でもありましたが、今後量産EVを初めて世に出した日産・プリンスの伝統と技術、ホンダ・ソニーの斬新さ、トヨタの複眼の思想による水素燃料・全固体電池技術で日本車が再び世界を席巻することを願いたいものです。

開発します。納車時点では、日産自動車と合併していたことから御用車は「日産 プリンスロイヤル」のエンブレムがつけられました。

1970年代の石油ショックと排ガス規制強化の中、本田技研工業を除く各社が電気自動車の開発をおこないますが、中東情勢の改善、排ガス対策技術の向上、コスト及び利便性においてガソリン車に見劣りする電気自動車は実験の域を出ることなく姿を消すこととなります。

「プリンス」の伝統を受け継ぐ日産は近年「リーフ」、「さくら」を発売し電気自動車でリードしていますが、日本のEVは米国「テスラ」、中国「BYD」に比較し大きく後れを取っています。電気自動車の歴史は失敗の歴史でもありましたが、今後量産EVを初めて世に出した日産・プリンスの伝統と技術、ホンダ・ソニーの斬新さ、トヨタの複眼の思想による水素燃料・全固体電池技術で日本車が再び世界を席巻することを願いたいものです。

開発します。納車時点では、日産自動車と合併していたことから御用車は「日産 プリンスロイヤル」のエンブレムがつけられました。

1970年代の石油ショックと排ガス規制強化の中、本田技研工業を除く各社が電気自動車の開発をおこないますが、中東情勢の改善、排ガス対策技術の向上、コスト及び利便性においてガソリン車に見劣りする電気自動車は実験の域を出ることなく姿を消すこととなります。

「プリンス」の伝統を受け継ぐ日産は近年「リーフ」、「さくら」を発売し電気自動車でリードしていますが、日本のEVは米国「テスラ」、中国「BYD」に比較し大きく後れを取っています。電気自動車の歴史は失敗の歴史でもありましたが、今後量産EVを初めて世に出した日産・プリンスの伝統と技術、ホンダ・ソニーの斬新さ、トヨタの複眼の思想による水素燃料・全固体電池技術で日本車が再び世界を席巻することを願いたいものです。

(エス・バイ・エス事業協同組合 岩田 一典)